

宇治市社会福祉協議会



## 性格及び目的

急速な高齢化・核家族化等の進行により福祉ニーズの増大とその多様化が顕著となりこれへの対応が緊急の課題となっている。また、児童、高齢者、障がい者等についても可能な限り地域社会の中で生活できる環境づくり等を推進していこうという考え方が強まっている。

こうした要求にこたえるため地域社会を基盤とする福祉サービスの総合的な取組みとして「地域福祉の推進」の中核的役割を担っている組織が市町村社会福祉協議会であり、宇治市社会福祉協議会も、市民ぐるみで民間の社会福祉について協議し、宇治市の福祉を推進している組織である。また、市民のみならず、宇治市やその他の福祉関係団体との連携を保ちながら、地域における社会福祉法人との連携・調整役としての役割に従事し、宇治市の福祉を民間の立場で効果的に運営していこうとするものである。

## 根拠法令等

◇社会福祉法 第109条

## 事業の目的

## I. 第4次宇治市地域福祉活動計画策定を通して今後の地域福祉活動支援を考える

## 事業の概要および現況

## (1) 第4次宇治市地域福祉活動計画の策定及び宇治市地域福祉計画策定への参画

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、ワークショップ等を行うことができないことを鑑み、委員長（大谷大学 志藤修史先生）と協議の上、令和2年度の策定を1年延長することを提案し、書面にて確認した。しかしながら、令和3年度も二度の緊急事態宣言等を受け、参集での会合ができず、策定委員会は1回（11月15日）のみの開催となった。

策定委員会では、コロナ禍でそれぞれの団体が感じていること、歩みを止めず続けたことを共有し、地域福祉活動の草の根的な取組みがコロナ禍だからこそ大切にされていることを共有した。その中で、市民活動などの単位ではオンライン等を活用して、つながり方が大きくなる一方で、小地域福祉活動では、より一層小さな単位での活動が必要とされる状況が理解できた。また、これらの報告から、どのように計画策定に盛り込むのかを検討する。

## 事業の目的

## II. 住民参加による地域福祉推進を行い、福祉活動に関わる参加者層を広げる

## 事業の概要および現況

## (1) 学区福祉委員会活動の支援（全21学区、平成29年度以前は全22学区）

## ① 各学区福祉委員会の主な事業への支援

補助金名	補助内容
学区福祉委員会等事業費補助金	・事業費補助金 A 区分：3 事業実施分（150,000 円）を補助。 ・事業費補助金 B 区分：1 事業実施分（25,000 円）を補助。

② 一人暮らし高齢者などの会食・配食活動の支援

補助金名	補助内容
一人暮らし高齢者等給食サービス事業補助金	一人暮らし高齢者等への給食サービス事業実施の福祉委員会に対し、1食あたり350円を材料費の一部として補助。

③ 一人暮らし高齢者などの見守り、声かけ活動の支援

事業名	補助内容
一人暮らし高齢者等訪問事業補助金	一人暮らし高齢者等に対して、月1回以上の訪問活動、生活支援を実施している福祉委員会について、訪問時に配布する記念品等に要する経費として対象者一人あたり年間1,000円を上限に補助。

④ 学区福祉委員会補助金交付状況

(単位：円)

区分 \ 年度	29	30	元	2	3
事業費	3,282,619	3,150,000	3,150,000	1,783,397	1,867,912
給食サービス事業	2,941,050	2,900,100	2,775,150	1,595,300	1,919,050
訪問活動事業	1,821,000	1,765,000	1,764,000	1,669,000	1,688,000
合計	8,044,669	7,815,100	7,689,150	5,047,697	5,474,962

⑤ 歳末たすけあい「ふれあい事業」補助金交付について

70歳以上の一人暮らし世帯等を対象にした声かけ活動に際し、見舞品やお弁当など、一人当たり上限1,000円まで(上限150人分)または、1学区福祉委員会上限130,000円(住民交流事業の場合)を補助。その他、会食会、世代交流事業も補助の対象とした。

補助金交付状況

(単位：円)

年度	29	30	元	2	3
補助金額	2,523,261	2,343,870	2,375,893	1,784,998	1,858,385

(2) 木幡学区内の住民交流拠点づくりと社協出張相談の場の検討

令和2年度に引き続き、木幡学区福祉委員会解散後の取組みとして、木幡地域の“いま”や“思い”を語り合い、共有し、学び合う懇談会を毎月18日に定例で開催した。

また、木幡学区内の住民誰でもが立ち寄れ、交流や情報交換を行い、志を同じとする人同士で新たな動きや活動を生み出していくきっかけづくりとなる交流拠点の開設を第4土曜日に定め、実施した。

懇談会(開催日、参加者数：事務局除く)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| ① 令和3年4月18日(日) 7名  | ② 令和3年6月26日(土) 9名  |
| ③ 令和3年7月18日(日) 8名  | ④ 令和3年8月18日(水) 8名  |
| ⑤ 令和3年9月18日(土) 7名  | ⑥ 令和3年10月18日(月) 8名 |
| ⑦ 令和3年11月18日(木) 7名 | ⑧ 令和3年12月18日(土) 9名 |
| ⑨ 令和4年1月18日(火) 9名  | ⑩ 令和4年2月18日(金) 6名  |
| ⑪ 令和4年3月18日(金) 7名  |                    |

### (3) 住民主体活動への支援・協働

高齢者のみならず、小地域の地域住民による見守り活動に対して、京都府社会福祉協議会の助成金「地域ひとつなぎ事業」での財政面の支援を行った。

#### 地域ひとつなぎ事業

年度 区分	30	元	2	3
団体数 (団体)	25	22	25	24
助成金額 (円)	592,200	541,500	660,000	640,000

### (4) 学区福祉委員会連絡協議会への支援

学区福祉委員会連絡協議会の事務局として、役員会 (年 2 回)・代表者会議 (年 2 回) の運営、事業支援、及び運営費助成を行った。

#### ① 学区福祉委員会募集強化月間

令和 4 年 3 月 1 日～3 月 31 日

市政だより 3 月 15 日号掲載、社協だより 3 月 15 日号掲載、各学区独自の広報誌の作成  
ポスター掲示物の配布、FM うじへの出演  
新規加入 36 名、退会 71 名

#### ② きょうと地域福祉活動実践交流会の開催への参画

実施日 令和 3 年 11 月 30 日 (火) 13 : 00～16 : 30

実施場所 宇治茶会館 (宇治市会場・実践交流会中継会場)

京都府内市町村社協の各会場 (サテライト会場) 27 市町村 30 会場

実施目的 府内の地域福祉活動実践を学び、各市町村での小地域福祉活動の拡充につなげる。  
小地域福祉活動実践者同士の交流を通じて、日々の活動へのモチベーションを高める。

参加者 宇治茶会館 : 京都府社会福祉協議会 8 名 (役職員)、当会 13 名 (役職員※うち 2 名はオンライン参加・実習生)、城陽市社協 3 名、久御山町社協 2 名

サテライト会場 : 約 500 名

内容 【講演】地域づくりの『いろは』から想像する新しいつながりの創造

講師 : 室田信一 (東京都立大学 人文社会学部准教授)

#### 【実践報告・パネルディスカッション】

##### 1. 深谷校区社会福祉協議会 (城陽市)

「コロナ禍におけるふれあいサロン活動」

～ふれあいセンターのこれまでとこれから～

##### 2. 市田地域福祉会 (久御山町)

日本の生活を学ぶ新たなつながり～外国人技能実習生×地域福祉会～

##### 3. コラボプラザ～ふらっとこはた～

「共に語り、共に学び、まずはやってみる！」から始める地域福祉活動

### (5) ふれあいサロン事業促進

#### ① ふれあいサロン活動費の助成と活動の支援

身近な地域での孤立を防ぎ、日々の支え合いの仲間づくりを進める目的で月 1 回以上開催しているグループを支援している。助成金を必要とするサロンは平成 30 年度からは宇治市共同募金委員会が募集・審査・助成を行っている。

新規立ち上げを検討する地域住民に対し、サロン運営経験者との情報交換の場を提供し、サロン活動を広げるとともに、既存のサロンに対しても情報提供や研修会の開催などの支援を行った。

サロンの登録の推移 (単位：件)

区分 \ 年度	29	30	元	2	3
登録のみのサロン	13	7	8	8	15
助成金申請サロン	106	107	102	96	88
合計	119	114	110	104	103

② サロン交流会の開催

令和3年度は、コロナ禍で対面での活動に制限を受ける中、サロンで活動しているボランティアとの交流を行った。(介護予防普及啓発事業「地域参加型B型リハビリ」事業の研修会と合同で実施)

(単位：人)

区分 \ 年度	29	30	元	2	3
参加者	61	22	53	19	34

※ 呼びかけ先は一般市民へも広げて実施。

③ サロン活動者懇談会の実施

令和3年度は、市内ふれあいサロンのネットワークづくりを目的とした、サロン活動者による懇談会を実施した。(日程：3月1日(火)、参加者：11名)

(6) 宇治ボランティア活動センターへの支援

宇治ボランティア活動センターでは、毎月役員会と運営委員会を定例開催しており、当会事務局からも職員が1名、運営委員として運営に参加し、運営委員間の連絡調整等に協力した。

① 事業内容

- 情報紙「パートナー」発行(奇数月)
- ボランティアマッチングサロンの実施
- 「はじめよう！セカンドライフ」の実施
- 健康長寿サポーター養成講座への協力
- 運営委員研修の実施

※ なお、例年実施している「バリアフリー上映会」及び「ボランティアフェスティバル& 思いの駅伝」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

② ボランティア相談件数の推移 (単位：件)

年度	29	30	元	2	3
相談件数	173	200	189	227	178

※ ボランティア活動センター担当職員によるボランティア相談件数をカウント

(7) 宇治市災害ボランティアセンターの運営(平常時)

災害に対して円滑な災害ボランティア活動を行い復旧に努めると共に平常時における防災、減災、災害ボランティア活動への意識向上を推進に努めている。構成団体数：81(正会員)。

事業内容

- 総会(書面での決議とし、令和3年6月に案内し、全団体から同意を得た)
- 運営委員会(年4回)の開催
- 広報、普及啓発活動：随時
- 運営委員研修1回
- 全体研修会1回
- 京都府災害ボランティアセンターへの協力：年7回

### (8) 在宅高齢者介護者リフレッシュ事業の実施

宇治市の委託を受けて実施。要介護や要支援の認定を受けている人を在宅で介護している家族等を対象とし、介護者のリフレッシュを目的とした当事者交流事業を開催した。交流会およびレクリエーションを企画し、実施した。

参加者数		(単位：人)				
区分	年度	29	30	元	2	3
介護者交流 1		16	(交) 9	(レ) 12	(レ) 未実施	(交) 中止 (交) 中止
介護者交流 2		13	(レ) 6	(レ) 13	(交) 中止	(交) 中止
介護者交流 3		—	(レ) 23	(交) 6	(レ) 11	(レ) 20
介護者交流 4		—	(レ) 21	(レ) 10	(交) 6	(レ) 10
介護者交流 5		—	(レ) 8	(レ) 9	(レ) 10	(交) 12
介護者交流 6		—	(交) 10	(交) 6	(交) 7	(交) 8

※ 花束贈呈については、平成 29 年度より宇治市直営で実施

※ (交) は交流会、(レ) はレクリエーション

※ 令和 3 年度の介護者交流 1 は、2 回実施 (1 回目は緊急事態宣言を受け中止、2 回目は応募者が規程を下回り中止)

### (9) 生活支援体制整備事業の実施

宇治市の委託を受けて実施。地域における高齢者の生活支援体制の整備を推進するために、生活支援コーディネーター業務及び協議体 (「宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議」) を設置。事業実施に当たっては、第 1 層協議体戦略会議、生活支援体制整備事業事務局会議において宇治市、宇治市福祉サービス公社と情報共有と協議を行っている。

- ① 生活支援コーディネーターの設置  
第 1 層 3 名 (他に福祉サービス公社 2 名)  
第 2 層 2 名 (第 1 層と兼務)
- ② 会議  
事務局会議 7 回、戦略会議 2 回
- ③ 宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議 (開催日、場所、参加者 (関係者含む))  
第 1 層：ア 令和 3 年 8 月 6 日 (金)、宇治市生涯学習センター、32 名  
イ 令和 3 年 3 月 16 日 (水)、宇治市産業会館多目的ホール、35 名  
第 2 層：各地域での懇談会の実施  
紫ヶ丘地域 (9 回)、グリーンタウン榎島地域 (9 回)、木幡北畠地域 (13 回)、  
木幡区 (5 回)、府営西大久保団地地域 (3 回)
- ④ その他  
小地域包括ケア会議への参加：4 回  
自立支援型ケア会議への参加：11 回  
勉強会の実施：5 回  
研修会への参加：7 回

### (10) 一般介護予防事業 介護予防普及啓発事業「B 型リハビリ教室」の実施

宇治市からの委託事業。地域の住民同士が共に、体操、レクリエーションのプログラムを通じて、介護予防を進めるための教室を開催している。より多くの市民の方に利用していただき、また、活動を支えるボランティアとして参加いただけるように、啓発活動を行った。

① 開催回数と利用者・ボランティア延数

区分 \ 年度	29	30	元	2	3
開催回数 (回)	837	817	742	609	576
利用者延人数 (人)	6,334	6,271	5,259	3,163	2,931
ボランティア延人数 (人)	10,149	9,935	8,774	5,426	5,411

② ボランティア研修会 (単位：人)

区分 \ 年度	29	30	元	2	3
1回目 参加者数	52	54	57	26	34
2回目 参加者数	48	55	53	15	24
3回目 参加者数	29	40	35	24	21
4回目 参加者数	61	22	53	19	29

(11) 宇治福祉まつり検討委員会の開催

令和元年度に福祉まつりの中止を決定した際に、30年以上続くイベントの中での成果を見直し、時代に即した実施、「協働」と「参画」を促進していくことでより一層の地域福祉の推進につながっていくものをめざしたイベントのあり方を検討する委員会として「宇治福祉まつり検討委員会」が設置された。

特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、多くの地域での行事イベントが中止を余儀なくされてきた。従来の宇治福祉まつりは、多くの来場者が楽しめる催しが中心であり、「三密」を避けることができないものであった。令和3年度も宇治福祉まつりは実施せず、事務局から時機を見て再度協議の場を持つことになった。しかしながら、コロナ禍で多くの地域福祉活動がこれまでのような活動ができない状況にある。加えて、新型コロナウイルス感染症も収束が見通せない。そのようなことを踏まえ、福祉まつり検討の会合（令和4年3月1日）においても、令和4年度での取組みの見直しが提言された。しかし、この会合においては、これまでの福祉まつりが培ってきた福祉の価値の創造とそれを盛り上げる人たちとのネットワークは、失ってはならないことも確認され、令和5年度以降、形を変えて取り組むことができるように、準備を進めていくことも併せて確認された。

宇治福祉まつり参加団体数

参加団体 (団体)	年度	29	30	元	2	3
	区分					
	福祉の店	33	34	37	/	/
	ステージ発表	10	14	13		
	展示コーナー	23	23	26		
	相談コーナー	19	24	22		
	子ども広場	6	6	6		
	スタンプラリー	9	9	8		
	オープニング※	18	20	21		

※ オープニングは30秒アピールを行った団体数をカウント。



## (12) 京都文教大学との連携によるボランティア活動の促進（京都文教大学委託事業）

平成 23 年度より京都文教大学から「ボランティア演習」科目の業務委託を受け、大学生のボランティア活動のきっかけづくりを始めた。

令和 3 年度はコロナ禍ではあったが、春学期、秋学期ともに実習受け入れを行った。春学期は 17 名、秋学期は 9 名の履修登録があり、単位認定を行った。

### 履修生の推移

区分 \ 年度	29	30	元	2	3
春学期（人）	5	10	12	中止	17
秋学期（人）	6	14	3	5	9
合計	11	24	15	5	26

## (13) 中学生と赤ちゃんのふれあい交流事業

おおむね首が座った頃からよちよち歩きが始まる頃までの赤ちゃんとお母さんが「赤ちゃんボランティア」として中学校を訪れ、3 年生と交流をはかる授業。中学生の質問に答えながら命の大切さについて伝えていると同時に親子の社会参加の機会にもつながっている。本会ではボランティア募集、調整、当日サポート、実施後のフォローを行っている（年により、インフルエンザの流行等で中止になっている学校あり）。

令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、各中学校での開催は全て中止となったが、赤ちゃん交流事業に参加できなかった 3 年生に対して、NPO 法人子育てを楽しむ会の事業に参加されている方や子育て事業を行っているスタッフからの卒業を祝う一言メッセージを集めて、赤ちゃん交流を予定していた中学校に贈呈を行った。

### ① 実施校

東宇治中学校（平成 16 年度～）、宇治中学校（平成 22 年度～）、南宇治中学校（平成 24 年度～）  
槇島中学校（平成 25 年度～）、黄檗中学校（平成 26 年度～）、西宇治中学校（平成 28 年度～）

### ② 「赤ちゃんボランティア」協力者数

年度	29	30	元	2	3
組数（組）	242	287	313	中止	中止
実施校（校）	東宇治、宇治、 槇島、黄檗、 西宇治 計 5 校	東宇治、宇治、 黄檗、南宇治 計 4 校	東宇治、宇治、 槇島、黄檗 計 4 校	中止	中止

※ 延べ赤ちゃんボランティア数

## (14) 宇治福祉のつどいの開催

地域福祉活動に長年ご尽力いただいた個人や団体に対して、当会会長表彰及び感謝状を贈呈した。令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、時期を秋にし、表彰式典のみの実施として 10 月 29 日（金）にパルティール京都にて開催した。講演会等による地域福祉課題の提起はできなかったが、当会会長表彰及び感謝状の贈呈を 108 名の受賞者（被表彰者個人 106 名、団体 1 名、感謝状 1 名）に行った。

参加者数		(単位：人)				
区分	年度	29	30	元	2	3
来賓		34	34	38	0	7
被表彰者		76	88	48	69	48
一般来場者・スタッフ		225	195	206	0	44
合計		335	317	292	69	99

※ 被表彰者数は当日欠席者含む。来賓・一般来場者・スタッフは当日の実参加者数。

### (15) 子育て世代への働きかけと地域福祉活動へのきっかけづくり

NPO 法人と連携して、1 歳になるまでの子どもを持つ親同士の仲間づくりや情報交換の場として、「赤ちゃんサロン」を年 8 回、「赤ちゃん広場」・「赤ちゃんパーク」をそれぞれ年 7 回実施した。参加者の気持ちをほぐすプログラムの後、交流を促すフリートークの時間を設けるほか、小グループでのおしゃべりタイムを設けるなど、参加者が交流しやすくなるような工夫をしている。

また、子育て中の親の悩みに応じた当事者同士の出会い、相談の場として「おしゃべりキャッチボール」をテーマごと（①子どもの発達に不安や悩みのある親 ②アレルギーのある子どもを持つ親 ③多胎児を育てる親）で年 2～5 回実施した。

#### ① 年間延べ参加者数の推移 (単位：延べ組数)

区分	年度	29	30	元	2	3
赤ちゃんサロン（妊婦婦～生後 4 か月）		120	89	70	47	42
赤ちゃん広場（生後 5 か月～8 か月）		158	165	104	88	49
赤ちゃんパーク（生後 9 か月～12 か月）		100	168	95	97	52
おしゃべりキャッチボール（人）		119	57	73	64	86

#### ② 子育てサークルなどへの情報提供および広報

総合福祉会館に常設している子育て情報コーナーで各種情報の発信の場を提供した。

### (16) 宇治市老人福祉センターサークル協議会への支援

宇治市老人福祉センターサークル協議会（USK）の運営支援を通じ、高齢者の生きがいがづくりと社会参加の機会の提供を行った。

#### ① 事業内容

- シルバーウェルネス舞台発表大会（新型コロナウイルス感染症にかかる対応のため中止）
- シルバーウェルネス展示発表大会（新型コロナウイルス感染症にかかる対応のため中止）
- クリーン運動（新型コロナウイルス感染症にかかる対応のため中止）
- 管外研修 2 回（歴史健康ウォーク）

#### ② 老人福祉センターサークルの推移

区分	年度	29	30	元	2	3
サークル数（サークル）		20	22	20	20	17
登録人数（人）		400	420	392	384	331

### (17) 身体障害者デイサービス事業（作業型）の実施

身体に障がいがある方の自立と社会参加促進を目指し、地域生活支援事業として卓球バレーや手づくりなど7教室を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言下は福社会館が休館のため、事業を中止したが、10月からは、利用時間の短縮、各部屋の定員、消毒など感染予防対策を講じた上で再開した。

事業実施状況

区分 \ 年度	29	30	元	2	3
利用者数（人）	700	564	516	427	355
教室回数（回）	147	137	112	90	79

### (18) 身体障害者移動支援事業の実施

車いす利用者の外出支援を目的に、移動支援サービス事業としてガイドヘルパーの派遣を行った。

事業実施状況

区分 \ 年度	29	30	元	2	3
ヘルパー登録者数（人）	31	9	8	8	6
利用登録者数（人）	14	13	11	10	11
調整件数（件）	230	230	190	120	101
派遣実施数（件）	215	204	165	103	81

※ ヘルパー登録者数は、平成30年度から実際に稼働したヘルパー数に変更

### (19) 福祉活動拠点の整備と活用

令和2年度に丸紅基金社会福祉助成金の交付を受け改修を行い、令和3年8月31日より「地域福祉活動拠点（コミュニティスペース）」として運用を始めた。会議、コワーキング、イベント、研修、情報発信、交流、相談などの貸室として運用を始めた。利用料は、午前午後夜間の区分ごとに1回500円。原則、年末年始祝日を除く平日の9時から17時を利用時間、それ以外は要事前相談として柔軟に対応した。

#### 事業の目的

### Ⅲ. 各種相談から生活課題を把握し解決を図ります

#### 事業の概要および現況

#### (1) 各種相談事業の実施

市民のさまざまな困りごと悩みごとを、気軽に持ち込める相談窓口として、「ふれあい福祉センター」を設置し、一人ひとりが自分の悩みを解決できるよう、各種相談事業を実施した。法律相談については、相談者数を平成30年度から1日10名上限から8名上限へ変更した。

## ふれあい福祉センター相談実施状況と推移

(単位：件)

年度 区分	29	30	元	2	3
福祉なんでも相談	230	98	258	157	275
法律相談	386	359	363	332	390
登記相談	105	139	105	97	106
年金・社会保険相談	3	4	7	6	9
多重債務相談	9	24	17	13	13
成年後見相談	9	9	11	3	13
合計	742	633	761	608	806

## (2) 各種資金貸付等の実施

## ① 生活福祉資金に関する貸付相談・資金貸付

生活福祉資金は、低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して、暮らしていく上で一時的に資金が必要になった場合、当該世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活が営めるようにすることを目的に低利で資金を貸し付けた。

(単位：件 [千円])

年度 区分	29	30	元	2	3	
総合支援資金	生活支援費	0	0	0	1 [420]	0
	生活支援費 (増額)	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	
福祉資金	生業	23 [8,324]	15 [10,859]	10 [1,845]	2 [260]	13 [4,413]
	技能習得	—	—	—		
	療養・介護等	—	—	—		
	住宅	—	—	—		
	一般福祉	—	—	—	—	—
緊急小口	12 [1,030]	2 [183]	3 [300]	3 [300]	0	
教育支援資金	教育支援	52 [16,972]	61 [32,033]	45 [15,601]	24 [8,932]	42 [16,005]
	就学支度	47 [22,282]	54 [19,795]	38 [14,357]	22 [9,114]	39 [15,357]
不動産担保型 生活支援資金	0	1 [11,844]	0	0	0	
合計	134 [48,608]	132 [74,714]	96 [32,103]	52 [19,026]	94 [35,775]	

② 生活福祉資金特例貸付に関する貸付相談・資金貸付

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、生活資金にお悩みの世帯に対し必要な生活費用等の貸付を実施した。これは通常の 30 倍以上の件数となっており、令和 2 年度同様、特にスピーディーな対応が求められた。業種別相談件数では、運輸・郵便業、飲食・宿泊業に次いで建設業関係の順で高くなっている。二度の緊急事態宣言下（4/25～6/20、7/8～9/30）では、個人事業主からの相談が増加し、その後は一人親家庭からの相談が増加した。11 月頃から社会状況を同じくして感染・濃厚接触等の影響による相談が目立った。

(単位：件 [千円])

年度 資金種別	2	3
緊急小口資金	1,407 [275,980]	553 [109,190]
総合支援資金	1,028 [561,760]	604 [335,290]
総合支援資金（延長）	757 [414,560]	191 [107,700]
総合支援資金（再貸付）	224 [124,500]	940 [520,750]
合計	3,416 [1,376,800]	2,288 [1,072,930]

③ 暮らしの資金に関する貸付相談・資金貸付

※ 宇治市からの受託事業。詳細は、「暮らしの資金貸付事業（委託）（地域福祉課）」を参照。

ア 資金貸付状況

(単位：件 [千円])

年度 区分	29	30	元	2	3
夏期貸付件数 （貸付金額）	8 [750]	8 [730]	6 [600]	14 [1,400]	15 [1,500]
年末貸付件数 （貸付金額）	14 [1,400]	14 [1,350]	9 [880]	23 [2,250]	13 [1,300]
合計貸付件数 （貸付金額）	22 [2,150]	22 [2,080]	15 [1,480]	37 [3,650]	28 [2,800]

イ 資金貸付事由

(単位：件)

年度 区分	29	30	元	2	3
生活費	18	20	13	35	24
医療費	1	0	2	1	3
借金返済	0	0	0	0	0
失業	1	0	0	0	1
交通事故	0	0	0	0	0
養育	0	0	0	0	0
その他	2	2	0	1	0

(3) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）の実施

福祉サービスの利用方法や日常生活上の手続きの援助、金銭管理などをすることが一人では不安な高齢者・障がいのある方に、生活支援員が定期的に訪問し援助を行った。

① 契約者数・終了・解約者数 (単位：人 カッコ内は生活保護受給者数)

区分 \ 年度	29	30	元	2	3
新規契約者数	10 (5)	13 (5)	12 (6)	23 (7)	22 (11)
終了・解約者数	7 (5)	14 (10)	9 (7)	9 (3)	14 (6)
年度末利用者実数	44 (26)	43 (18)	46 (17)	60 (20)	68 (25)

② 相談調整等の件数の推移  
相談・連絡調整活動の実施状況 (単位：回)

	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
平成 29 年度	952	280	3,245	5	4,482
平成 30 年度	297	270	1,965	7	2,539
令和元年度	825	477	2,600	4	3,906
令和 2 年度	1,379	709	2,866	43	4,997
令和 3 年度	1,964	1,164	2,679	46	5,853

③ 支援員交流会の開催

生活支援員の研修と相互交流を図るための「お茶会」(交流会)は、コロナ禍により中止とした。

④ 山城北中部広域社協合同講座の実施

山城北中部の 7 市町社協(宇治市・城陽市・久御山町・八幡市・京田辺市・井手町・宇治田原町)と京都府社協との協働にて、視察研修及び生活支援員向けの講座と意見交換会を行っている。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため ZOOM で事例検討や情報共有を行った。

合同会議：令和 3 年 6 月 21 日(月)・7 月 26 日(月)・8 月 24 日(火)・9 月 27 日(月)・  
10 月 26 日(火)・11 月 25 日(木)・12 月 22 日(水)  
令和 4 年 1 月 24 日(月)・2 月 28 日(月)・3 月 24 日(木)  
総合福祉会館(ZOOMにて参加)

(4) 宇治市共同募金委員会の助成相談、団体への活動支援

本会に寄せられた情報、相談から、各種団体とのつなぎを行った。

当事者団体や、当事者の声、意見を聞き、課題解決のために活動をしている団体へ宇治市共同募金委員会と連携協働して支援をした。

共同募金配分事業

赤い羽根コラボ助成金

区分 \ 年度	29	30	元	2	3
助成団体数(団体)	40	41	42	38	36
助成事業数(事業)	84	83	90	79	75
助成決定額(円)	3,637,000	3,481,000	3,448,000	3,263,000	3,143,000

※ 平成 29 年度まで宇治市社会福祉協議会が募集・審査・助成を行っていた。

#### (5) 宇治市地域共生社会推進事業の実施

宇治市福祉未来基金を財源にした補助を受け、地域共生社会推進事業を実施した。当事者の声に寄り添うことを念頭に、ひきこもり当事者、当事者家族、支援団体との現状の聞き取りを行った。また、財政面の支援として「公募型地域福祉活動支援助成金」として、①子どもの貧困、②ひきこもり、③地域福祉活動の担い手確保を対象とする事業に対して、3団体に計413,000円の助成金を交付した。

#### (6) 学習支援事業 ～うじピョンの学び舎～ の実施

平成29年度7月より、中学校1年生から3年生の宇治市が適当と求めた生徒を対象に、原則週2回の学習支援を実施した。主に大学生の学習支援員を募集し、実施している。

実施状況の推移

年度	29	30	元	2	3
開催回数(回)	75	100	95	92	84
生徒人数(延べ数)(人)	612	830	712	653	824
学習支援員(延べ数)(人)	295	402	327	319	363

#### (7) 一人親家庭の新入学児童や交通遺児に対するの激励金の給付

##### ① 新入学児童への祝い金の贈呈

年度	29	30	元	2	3
区分					
金額(円)	70,000	60,000	65,000	85,000	45,000
人数(人)	14	12	13	17	9

##### ② 交通遺児への見舞金の贈呈

年度	29	30	元	2	3
区分					
金額(円)	0	0	0	0	0
人数(人)	0	0	0	0	0

### 事業の目的

#### IV. 法人運営の強化と財源づくりの強化に努めます

### 事業の概要および現況

##### (1) 市社協の組織運営

法人を運営していくために、理事会、評議員会の他、正副会長会(年7回)、監査(年1回)、評議員選任・解任委員会(年1回)を適時開催した。

理事会・評議員会 開催状況 (単位：回)

年度 区分	29	30	元	2	3
理事会	7	8	6	4	6
評議員会	3	3	3	3	5

(2) 会員募集の増強

法人の運営、事業の推進を図る財源確保のために会員募集を、学区福祉委員会、町内会・自治会の協力を得て行った。

会員（会費）等実績 (単位：円)

年度 区分	29	30	元	2	3
住民会費	9,261,000	8,724,500	8,537,000	8,450,500	7,419,500
賛助会費	233,769	150,572	210,667	104,644	99,300
事業所会費	972,000	948,500	888,000	301,000	401,000
団体会費	594,000	534,901	544,600	399,908	455,700
施設会費	295,000	308,000	306,000	306,000	215,000
特別賛助会費	873,800	784,900	549,500	458,000	455,450
寄付金	1,726,803	1,539,775	1,422,592	1,225,064	1,425,170
合計	13,956,372	12,991,148	12,458,359	11,245,116	10,471,120

(3) 宇治市共同募金委員会の運営と赤い羽根共同募金運動、歳末助け合い募金運動への参画

宇治市共同募金委員会の事務局として、運営委員会（3回開催：対面1回、及びオンライン併用2回）を開催し、募金運動について協議した。毎年開催している募金推進会議については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、街頭募金運動を中止したことを受け、対面開催を1回行った。

また、集められた募金配分の透明性を図るために、配分内容を審査する審査委員会（対面1回、及びオンライン併用2回）を開催した。

① 共同募金運動の取組み実績（内訳） (単位：円)

年度 区分	29	30	元	2	3
戸別募金	8,034,683	7,594,790	7,451,990	7,102,267	6,861,878
グループ募金	1,730,695	1,779,794	1,898,192	1,658,814	1,513,667
街頭募金	354,649	265,064	260,286	16,220	19,366
資材募金	707,000	786,500	731,000	736,000	679,500
学校募金	168,891	89,083	142,142	49,889	68,056
個人募金	83,968	86,214	122,014	116,173	58,626
その他	314,989	75,982	187,954	118,522	112,687
合計	11,394,875	10,677,427	10,793,578	9,797,885	9,313,780

※ その他には、京都府共同募金会扱いの募金や繰越金を含む。



② 歳末たすけあい募金運動の取り組み実績（内訳） （単位：円）

年度 区分	29	30	元	2	3
戸別募金	7,540,084	7,374,123	7,214,135	6,734,784	6,116,531
その他	359,761	538,004	194,328	120,800	574,035
合計	7,899,845	7,912,127	7,408,463	6,855,584	6,690,566

③ 募金の配分

宇治市社会福祉協議会への配分（広報紙作成、福祉まつり、子育て事業他）の他、赤い羽根コラボ助成、Hot！ふれあいサロン助成を通じて、福祉団体・サークル等の活動支援を行った。

(4) 1㎡のできる社会貢献（自動販売機設置事業）の推進

企業の社会貢献を進める観点から法人や事業所等のご理解を得ながら、飲料用自動販売機の設置を進め、その収益を地域福祉活動・ボランティア活動の拡充に活用した。

年度	29	30	元	2	3
設置台数（単位：台）	18	23	20	20	20
収益実績額（単位：円）	1,715,830	2,058,687	2,224,797	2,175,749	1,997,787

(5) 寄付金の受け入れと「ふれあい基金」「ボランティア基金」「災害時支援活動準備金」の適正運用

皆さんからの寄付の受け入れ及び「ふれあい基金」「ボランティア基金」の運用による財源確保に努めた。

① ふれあい基金

（単位：円）

年度 区分	29	30	元	2	3
寄附件数（件）	18	15	15	28	10
寄附金額	1,075,237	903,303	494,498	510,243	639,862
基金積立額	21,564,757	2,010,298	1,993,936	1,609,312	1,739,862
基金取り崩し額	7,335,000	0	0	0	0
年度末基金保有額	194,964,695	196,974,993	198,968,929	200,578,241	202,318,103
運用益	1,019,830	889,163	703,807	561,506	597,280

※ 基金保有額のうち、50,000,000円は宇治市からの補助。

② ボランティア基金

（単位：円）

年度 区分	29	30	元	2	3
年度末基金保有額	121,788,928	121,788,928	121,788,928	121,788,928	121,788,928
運用益	317,049	319,042	274,670	266,814	272,304

※ 基金保有額のうち、50,000,000円は宇治市からの補助。

**(6) 多角的な広報の展開**

多角的な広報活動として下記の通り取り組んだ。

- ① SNS (Twitter、facebook) の活用
- ② ホームページの運用
- ③ 洛タイ新報との連携による新聞を活用した広報「月イチ・うじピヨンの<sup>まるまる</sup>○○な話」の掲載
- ④ 広報紙「社協だより」の発行（年3回発行）

**(7) 宇治市総合福祉会館の管理運営（指定管理）**

宇治市総合福祉会館（身体障害者福祉センター、老人福祉センター、福祉センター）は、市の地域福祉推進の拠点施設として、多くの市民や団体に利用されている。（利用状況は別掲）

組織・機構

会 員	住民会員	(会費 1口 : 500円)
	賛助会員	(同上 1口 : 500円)
	特別賛助会員	(同上 1口 : 10,000円)
	事業所会員	(会費 1口 : 3,000円)
	団体会員	(同上 1口 : 3,000円)
	施設会員	(同上 1口 : 5,000円)

評 議 員	1号 (住民代表機関・団体)	14名
	2号 (福祉専門機関・団体)	8名
	3号 (当事者団体)	8名
	4号 (関連分野機関・団体)	6名
	5号 (知識経験者)	2名
38名		

京都府共同募金会  
宇治市共同募金委員会  
会長 宇治市長

理 事  15名	会長	1名
	副会長	3名
	常務理事	1名
	理事	10名

監事 2名

事務局

総務係

業務係